

ファクトシート：主な新型コロナウイルス感染症関連の対 ASEAN 支援実績
(2021 年 10 月 27 日)

新型コロナウイルス感染症は、ASEAN 諸国においても社会、経済に大きな影響を与えている。インド太平洋地域の中心にある ASEAN の感染症対策能力の強化は、現地在留邦人の安全確保や日本における流行の防止を図る上で非常に重要であるというのみならず、インド太平洋地域全体にも資するものである。さらに、「自由で開かれたインド太平洋」の推進に当たり、その実現の要である ASEAN 諸国の経済回復や強靱性の向上は重要である。

こうした観点から、日本は、ASEAN 包括的復興枠組みを強力に支援することを通じて、ASEAN と共にこの難局を乗り越えるべく、ASEAN 感染症対策センター設立に向けた支援や「新型コロナウイルスに関する ASEAN 対応基金」への拠出を行ってきたほか、「対 ASEAN 海外投融資イニシアティブ」に基づく民間セクターへの投資促進や「日 ASEAN 経済強靱化アクションプラン」による強靱なサプライチェーン構築や産業のデジタル化を支援している。ASEAN 各国に対しては、ワクチン供与（1600 万回分以上（今後空輸予定分を含む）、新型コロナ対策のための財政支援円借款（累計 1950 億円）、ワクチンを接種現場まで届けるために必要なコールドチェーン整備のための「ラスト・ワン・マイル支援」（25 億円以上）を含む無償資金協力（累計約 320 億円）等を行ってきた。詳細は以下のとおり。

1 ASEAN に対する関連支援

（1）ASEAN 感染症対策センター設立に向けた支援

- 2020 年 5 月、日・ASEAN 統合基金（JAIF）に 4980 万米ドルを拠出。
- 2020 年 6 月から 10 月にかけて、ASEAN を始め、米国、オーストラリア、世界保健機関（WHO）など様々な地域・機関の専門家と協力し、準備調査を実施。また、日本は設立に向けたセンターの詳細設計にも全面的に協力している。
- 2021 年 10 月から、カナダ、オーストラリア、EU、米国、アジア欧州財団（ASEF）、世界保健機関（WHO）など様々な地域・機関の専門家と協力し、保健職員向けの研修を実施中。また、センターへの技術専門家の派遣に向けた調整を進めてきている。

（2）医療支援

- 「新型コロナウイルスに関する ASEAN 対応基金」への拠出
 - 2020 年 9 月、茂木外務大臣から、日本独自の貢献として 100 万米ドルの拠出を決定した旨発表（2021 年 6 月、拠出）。
 - 2021 年 7 月、日中韓が連携し、ASEAN+3 協力基金から約 39 万米ドルを拠出。
- 医療物資・機材支援、技術協力
 - 2020 年 11 月、菅総理（当時）から、2 億ドル以上の医療物資・機材の支援、医療研究機関等に対する技術協力などを通じた支援を更に進めていく旨発表。（各国向け支援の具体例については、下記 2 参照。）

(3) 経済再生支援

●財政支援円借款

- 2020年11月、菅総理（当時）から、ASEAN各国に総額約25億米ドルの財政支援円借款を供与している旨発表（このうち、新型コロナウイルス感染症対策のために供与された各国向け円借款の詳細については、下記2参照）。

●「対ASEAN海外投融資イニシアティブ」

- 2019年11月、「対ASEAN海外投融資イニシアティブ」を立ち上げ、3年間（2020年～2022年）で官民合わせて30億ドル規模の資金の動員を目指すべく、JICAにおいては、12億ドルの出融資を提供する用意がある旨発表。
- ASEAN域内におけるJICA海外投融資の拡大に向け、他の開発金融機関や民間金融機関との協調を推進。

●「日ASEAN経済強靱化アクションプラン」

- 2020年7月、経済・産業協力に関して50を超える具体的なプロジェクトを盛り込んだ「日ASEAN経済強靱化アクションプラン」を策定。サプライチェーンの多元化支援、デジタル技術を活用したASEANの課題解決等、各分野で具体的な進捗があった。
- 海外サプライチェーン多元化等支援事業（予算額：計351億円）：日ASEANのサプライチェーン強靱化のため、ASEAN等の地域において、サプライチェーン多元化を目的とした設備導入や設備導入のためのFS調査、実証事業等にかかる経費の一部を補助。2020年では81件のプロジェクトを採択。2021年も新たに11件を採択し、今後追加の公募も予定。
- アジアDX実証事業（予算額：計9.2億円）：日本企業が有する技術・ノウハウ等の強みを活かし、ASEAN各国の社会課題の解決に貢献するASEAN企業等との協業プロジェクトを支援。2020年では23件のプロジェクトを採択。2021年も新たに17件を加え、ASEAN10か国で40件のプロジェクトを支援。

2 ASEAN各国に対する新型コロナウイルス感染症対策支援

●インドネシア

- ✓ 日本国内で製造したワクチン（アストラゼネカ製。以下同じ。）の直接供与：約415万回分
- ✓ 財政支援円借款：500億円
- ✓ 無償資金協力（二国間支援及び国際機関経由）：約69億円（具体例）
 - ・ 経済社会開発計画：20億円（移動式X線撮影装置等）
 - ・ 酸素濃縮器供与（国連プロジェクトサービス機関（UNOPS）経由）：2800台
- ✓ JICA技術協力を通じた酸素濃縮器、人工呼吸器、防護服、マスク等の供与

●カンボジア

- ✓ COVAX ファシリティを通じたワクチン供与：約 101 万回分
- ✓ 財政支援円借款：250 億円
- ✓ 無償資金協力（二国間支援及び国際機関経由）：約 55 億円
（具体例）
 - ・ 経済社会開発計画：20 億円（高濃度酸素発生器等）
 - ・ シェムリアップ州病院改善計画：約 21.5 億円
- ✓ JICA 技術協力を通じたリアルタイム PCR 装置、マスク、体温計等の供与
- ✓ ASEF 備蓄事業による個人防護具供与：防護ガウン等 6 種類約 14.7 万点

●タイ

- ✓ 日本国内で製造したワクチンの直接供与：約 204 万回分
- ✓ 無償資金協力（二国間支援及び国際機関経由）：約 19 億円
（具体例）
 - ・ 酸素濃縮器供与（UNOPS 経由）：868 台
- ✓ JICA 技術協力を通じたリアルタイム PCR 装置等の供与

●フィリピン

- ✓ 日本国内で製造したワクチンの直接供与：約 308 万回分
- ✓ 財政支援円借款：900 億円
- ✓ 無償資金協力（二国間支援及び国際機関経由）：約 44 億円
（具体例）
 - ・ 経済社会開発計画：20 億円（ラボ機材（CT スキャナー、MRI システム等））
 - ・ 新型コロナウイルス感染症危機対応緊急支援計画（コールドチェーン関連機材）：約 7 億円
- ✓ JICA 技術協力を通じたリアルタイム PCR 装置等の供与
- ✓ ASEF 備蓄事業による個人防護具供与：防護ガウン等 6 種類約 7.3 万点

●ブルネイ

- ✓ 日本国内で製造したワクチンの直接供与：約 10 万回分
- ✓ 無償資金協力（国際機関経由）：約 0.8 億円
- ✓ ASEF 備蓄事業による個人防護具供与：医療用 N95 マスク 5 万枚

●ベトナム

- ✓ 日本国内で製造したワクチンの直接供与：約 408 万回分
- ✓ 無償資金協力（二国間支援及び国際機関経由）：約 43 億円
（具体例）

- ・ 経済社会開発計画：20 億円（MRI システム、ICU ベッド等）
- ✓ JICA 技術協力を通じた人工呼吸器、N95 マスク等の供与
- ✓ ASEF 備蓄事業による個人防護具供与：防護ガウン等 5 種類約 7.6 万点

●マレーシア

- ✓ 日本国内で製造したワクチンの直接供与：約 100 万回分
- ✓ 無償資金協力（二国間支援及び国際機関経由）：約 9 億円
（具体例）
 - ・ 経済社会開発計画：5 億円（シリンジポンプ等）
- ✓ JICA 技術協力を通じた N95 マスク、防護服等の供与

●ミャンマー

- ✓ 財政支援円借款：300 億円
- ✓ 無償資金協力（二国間支援及び国際機関経由）：約 57 億円
（具体例）
 - ・ 経済社会開発計画：20 億円（ICU ベッド、シリンジポンプ等）
 - ・ 酸素濃縮器供与、救急車 14 台等の供与（UNOPS 経由）：約 5.7 億円
- ✓ JICA 技術協力を通じた PCR 検査キット等の供与

●ラオス

- ✓ COVAX ファシリティを通じたワクチン供与：約 62 万回分
- ✓ 無償資金協力（二国間支援及び国際機関経由）：約 25 億円
（具体例）
 - ・ 経済社会開発計画：15 億円（シリンジポンプ、病床用ベッド、保育器等）
 - ・ 酸素濃縮器 100 台、吸引器 100 台及び患者用モニター 100 台の供与（UNOPS 経由）：約 0.77 億円
- ✓ JICA 技術協力を通じたワクチン保管のための冷凍/冷蔵庫等の供与
- ✓ ASEF 備蓄事業による個人防護具供与：防護ガウン等 6 種類約 11.5 万点